

滋賀県高P連会報

Mother Lake

〒520-0844 滋賀県大津市国分一丁目15-1

滋賀県立石山高等学校内

TEL/FAX : 077-599-0506 (事務局専用)

Eメール shiga-koup@river.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.shiga-koup.jimusho.jp/>

滋賀県公立高等学校PTA連合会

母なる湖・琵琶湖。—あづかっているのは、滋賀県です。

三方よし Ver.4



高P連 会長
前川 久幸
(石山高校 会長)

平素よりPTA活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

昨年24年はこれまでになく自然の脅威を目の当たりにした年でした。

被災されました方には心よりお見舞い申し上げます。

24年12月、学習指導要領の全面改定が文部科学大臣より中央教育審議会に諮問されました。社会情勢を反映した約10年に1度改定が進むことになりました。

自ら学ぼうとする子どもをどう増やすかに力点を置いた形で、学校現場の創意工夫を促し、子どもの主体性を伸ばすことが狙いのようです(22年にOECDが実施した学習到達度調査では、自分で勉強を進めることへの自信を示した指標はOECD加盟国中、最下位)。

子ども自身の成長においても、これから社会で活躍していく上でも、「主体性」はとても重要な姿勢であります。そこに向かうきっかけ創りは、われわれ大人が様々な形で提供できるのではないかと思っております。皆様は、PEP TALK

(ペップトーク)をご存知でしょうか。

10月に近畿地区高PTA連合会役員会に出席し、日本ペップトーク普及協会の桑野先生の講演を拝聴しました(演題「言葉を変え、心が動く! 相手を伸ばす言葉かけ、言葉でしあわせ子どもと共に育つ」)。

ペップトークとは、アメリカのスポーツ界で生まれた試合前に監督が選手に送る激励のショートスピーチです。やる気にさせる肯定的な言葉は、スポーツ現場だけでなく、家庭、学校、職場など幅広く活用できるコミュニケーションスキルです。「結果」の指示ではなく、「行動」を伝えるのがコツです。

皆様もご存知の、23年WBC決勝戦前の大谷選手の言葉「憧れるのはやめましょう。誰もが聞いたことのある選手たちがいると思うのですが、憧れてしまつたら越えられないので。今日一日だけは、彼らへの憧れを捨て、勝つことだけを考えていきましょう!」は大谷選手のペップトークです。

自分の引き出しのひとつとして活用できるようにしたいスキルだと思えました。

子どもたちの「主体性」を引き出すスキルでもあると思います。各高等学校PTA様から、令和7年度に向けての教育予算充実に際しまして、9月に県庁を訪問し、県教育

長に要望事項を説明、意見交換

をして参りました。

詳しくは県高PTA連合会ホームページ(滋賀県公立高等学校PTA連合会)をご参照いただけますと幸いです。

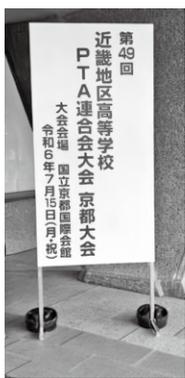
最後になりますが、教育現場を支えてくださっている先生方、PTA会員の皆様と共に引き続き

き、子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりに取り組んで参りたいと思っております。今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年へび年。脱皮して成長していく年、実を結ぶ年になりますように。

第49回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会開催

第49回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会が令和6年7月14日(日)、国立京都国際会館において、近畿地区各府県市より約1,100名(滋賀県参加者166名、参加校37校)の会員の現地参加と、112校(滋賀県参加6校)のオンライン参加により盛大に開催されました。「不易流行」をテーマに開催され、記念講演では辻井いつ子氏(ピアノソリスト辻井伸行氏の母)が「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」を演題に素晴らしい講演をされました。また、開会式での広報紙コンクール表彰では最優秀賞に虎姫高等学校が、感謝状贈呈では前回大会、滋賀大会実行委員長的那須康一氏がそれぞれ表彰されました。



ブロック研修会報告

湖北

幹事校…長浜北高等学校
 タイトル…「湖北地区の産業を知
 る」～湖北地域で働く魅力あ
 る企業と未来～

日程…令和6年10月19日(土)

13時～15時

場所…長浜ビジネスサポート
 センター フューチャールーム
 参加者…26名(保護者14名 教
 員12名)

協力…長浜市産業観光部 米
 原市まち整備部 長浜ビジネ
 スサポート協議会

内容…①数字で見る湖北地域
 の産業の現状(長浜市産業観
 光部および米原市まち整備部
 の方) ②パネルディスカッション



ゲスト…日本ソフト開発(株)・情
 報・サービス 扶桑工業(株)・
 機械・金属 (株)住文・観光・
 料飲食 (株)材光工務店・建
 設・不動産 長浜信用金庫・
 金融

テーマ(一部)

・各種業界ごとの全体的現状と
 湖北における展望について
 ・各業界における特有の業務に
 ついて

・地域で働く魅力について
 ・会社が希望する人材について
 テーマに添って参加者からの質
 問を随時ディスプレイに表示し、
 ディスカッション方式で行った。

湖東

11月30日(土)に幹事校である彦
 根工業高校で開催され、総勢50
 名が参加しました。毎年実施さ
 れているこの研修会は湖東地区
 の5つの高校による研修会です。
 今年は、彦根工業高校のPT
 A会長、彦根翔西館高校の研修
 部長から各学校の取組みについ
 て報告されました。

彦根工業高校のPTA会長の
 志蓮様は、学校行事の様子やP



TAと後援会合同の研修旅行に
 ついて発表されました。コロナ
 明けとなりPTAの存在意義や
 その必要性について触れられま
 した。

また彦根翔西館高校の研修部
 長小嶋様からは、PTA組織の
 特徴や楽しく参加して良かった
 と思え、負担感の少ない組織作
 りを目指していくという内容で
 発表されました。

また、講師として滋賀県教育
 委員会事務局 幼小中教育課児
 童生徒室主幹の北村武司先生に
 よる「県内の生徒指導にかかる
 諸課題」という題名で講演され
 ました。

公立小中学校および県立高校
 における暴力行為の発生件数は
 過去最多であることが発表され
 ました。また県内でのいじめの
 総認知件数は、12000件に

も及ぶが、各校がいじめの早期
 発見に努め、積極的に認知を行
 い対応していることが主要要因
 であると報告されました。
 また長期欠席者数や中途退学
 者は全国平均よりも低い、P
 TAや関係団体と協働の大切さ
 を講演され大変、勉強になりま
 した。

中央

幹事校…八日市高等学校
 日時…令和6年11月16日(土)
 会場…八日市高校 会議室
 内容…

○開会挨拶
 滋賀県公立高等学校PTA連
 合会 副会長 鹿城 律人
 八日市高等学校PTA 会長
 竹内 基恭

○実践報告 地区内6校のPT
 Aより活動報告
 ○講 演 「高校生が消費者
 トラブルに?!」事例と対処方
 法をしっかりと知っておきま
 しょう」

県消費者生活センター 消費
 者教育支援員 國田 宣子氏
 ○閉会挨拶 八日市高等学校P
 TA 副会長 田淵 宏治
 中央地区研修会は、約30名(6
 校)の参加のもと行われました。

(1校は創立記念式典と重なり
 欠席)
 開会挨拶の後、各校の実践報
 告を行いました。役員の選出方
 法や人数変更、部会の改編、活
 動内容の見直しなど、時代の変
 化に合わせながら各校で工夫さ
 れている様子をうかがうことが
 できました。

その後、消費者教育支援員の
 國田宣子氏より、「高校生が消
 費者トラブルに?!」事例と対処
 方法を知っていただきまし
 ょう」と題してご講演をい
 ただきました。若者の消費者ト
 ラブルはSNSをきっかけとし
 たものが多いのが特徴であり、
 身近にかつ誰にでも起こり得る
 こと、だからこそ正しい対処方
 法を知っておき、親子で話をす
 ることが大切であるということ
 を、具体的事例をあげながら、



湖西

わかりやすく話していただきました。
2時間あまりという短い時間ではありましたが、他校のPTAの様子を知る貴重な機会となりました。

秋晴れの10月5日(土)に、湖西地区の研修会を、安曇川高等学校の幹事で、安曇川高校視聴覚室を会場に開催されました。開

会行事では、会場校のPTA会長の水艸治樹氏と、続いて校長の大道敏喜雄先生から研修会参加者へ歓迎の挨拶が述べられました。

第一部の講演では、びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部トレーニング科学コース准教授であり管理栄養士の武田哲子先生による「現代高校生に送るスポーツ栄養学を活用した食生活のすすめ」の講演が行われました。休憩後、第二部として、研究校発表として、東大津高等学校PTA代表と高島高等学校PTAによる活動報告がされました。終わりに、閉会行事として、安曇川高等学校PTAの舟木君代副会長による閉会の挨拶をいただきました。

今年度の研修会は、湖西地区の十校より74名の参加をいただき開催することができました。

第一部では、びわこ成蹊スポーツ大学の武田哲子先生の講演を行いました。先生は、今年度開催のパリオリンピック大会ヨット競技の日本選手団に帯同され、ご専門をいかして選手が最高の成績をおさめられるように食事指導を行われました。

私たちは、日々ストレスを抱えており、情報が氾濫する社会の中で、不確かなそれに振り回されています。今回の講演では、食べものを正しく摂取し日々の健康を保ち、大事な場面で最大限の力が発揮できる効果的な食事法(栄養学)について学びました。効果的なタンパク質の摂り方、脳を働かせる食材、苛々感の軽減、体温の上げ方、活動



前の補食の摂り方や、市販の栄養補助食品の活用等、今からすぐに活用できる身近な題材が多く、参加者も興味をもって講演に聞き入っていました。また、「食生活バランスチェック票」を記入し、各自の栄養バランスを見直す機会にもなりました。

質疑応答では、高校生をもつ保護者の質問が多数出され、充実した時間になりました。

第二部の研究発表では、東大津高校PTAと高島高校のPTAの活動報告がされました。両校ともコロナ禍以前の活動に戻そうと工夫を凝らし、地道に実施されている様子が報告されました。特にPTAへの一部入会辞退者の対応などがより現実味を増し、それに伴い役員選出の困難さや、会費問題など課題を

確認する機会にもなりました。一方で、保護者同士の情報ネットワーク構築や、会員による地区研修の重要性なども再確認をし閉会をしました。爽やかな秋晴れの日に、和やかでためになる半日を一緒に学過ごせたことに感謝します。

湖南

幹事校・草津高等学校

実施日…令和6年9月28日(土)
会場…野洲文化小劇場
内容…

○開会あいさつ
・滋賀県公立高等学校PTA連合会
事務局長 川嶋 典明

○講演
「スマホ時代の子どもたちのために」
・一般社団法人ソーシャルメディア研究会
研究部長 真田 穰人

○実践発表
・草津東高等学校PTA 会長 松田 純子
・水口東高等学校PTA 会長 山下 英隆

○閉会あいさつ
・草津高等学校 校長 北川 公洋
(敬称略)

湖南ブロック研修連絡協議会は、約70名の参加のもと開催されました。

高P連・川嶋典明事務局長による開会挨拶の後、まずは、一般社団法人ソーシャルメディア研究会・研究部長 真田 穰人先生により、「スマホ時代の子どもたちのために」と題してご講演をいただきました。ネットやスマホの怖さを知るのみで終

わる事なく、そのトラブルが起こった背景や根底にある物は何かを考察し、子どもたちと一緒に取り組む家庭、学校、地域での具体的な対策などを講演いただいて、大変意義深いものになりました。講演後の質疑応答も活発なものとなり、会場全体が一層深い学びを得ることができました。

草津東、水口東両校PTA会長による実践発表では、スライドを用いるなどして、活動を通して子供たちの成長に関わることの喜びとともに、取組が会員にとってより楽しいものになるようさまざまに工夫されている様子をわかりやすく紹介していただきました。

講演、実践発表ともに、大変有意義な研修会になりました。



令和7年度 高P連大会日程

- (1) 第50回近畿(兵庫)大会
 - ・日程 令和7年 7月13日(日)
 - ・会場 アクリエひめじ
 - ・参加費 現地参加 2,500円
 - オンライン参加 一校7,000円
- (2) 第74回全国(三重)大会
 - ・日程 令和7年 8月21日(木)～22日(金)
 - ・会場 津市産業スポーツセンター他
 - ・参加費 現地参加 7,500円
 - オンライン参加 一校7,000円

令和7年度 教育予算 充実要望(報告)

令和6年9月13日(金)、令和7年度に向けての教育予算充実要望のため、連合会の前川久幸会長、鹿城律人副会長、志連正樹副会長、高P連事務局が福永忠克教育長と懇談しました。

重要要望として①充実した図書館活動を行うための図書館整備費の十分な予算配分、②オンライン授業等のICT教育環境の充実(校内WiFi環境の

整備・タブレット購入補助・教材購入補助)、③高校教育の充実に必要な教職員(特に正規教員)の増員、④特別教室・体育館等への空調設備の設置、⑤施設老朽化や環境衛生に対する安心・安全な教育環境の確保をお願いし、併せて各単位PTAからの独自要望の早期実現についてもお願いしました。

「充実した図書館活動を行うための図書館整備費の十分な予算配分」については、現在約2,000万円の予算を必要に応じて各校へ配分している。読書センターとしての役割を果たすとともに「司書」の方の有効な活用や活躍に期待したい。

「オンライン授業等、ICT教育の環境整備」については、タブレット購入については保護者の方にご負担をお願いしておりますが、Wi-Fi環境について、つながりにくい箇所等を調査し、改善していきたい。また、教員の使いやすいい教材等についても工夫をしていきたい。

「高校教育の充実に必要な教職員の増員」については教員の定年年齢が昨年度から延長されて人数が読みにくい状況にある。また、高校は専門の教科があり、難しい状況であるが、教員採用についての努力を続けていき

たい。

「特別教室・体育館等への空調設備の設置」については特別教室等への設置についてはできる限り進めていきたいが、体育館への設置については、その設備上、非常に多額の費用が必要であり、有効な方法がないか現在検討しているところである。

「施設老朽化や環境衛生に対する安全・安心な教育環境の確保」については、各校の事情に応じてできる限りの対応をしていきたい。

県として、各高等学校の特徴を生かした学校運営を期待し、学校内だけでなく、その地域の方々との連携を深くし、地域への貢献を期待しているところ。保護者の皆様には今後も高校教育へのご理解とご支援をお願いしたい。

以上のようなお話をいただきました。また、知事部局(秘書課)や県議会、教育総務課、教職員課、幼小中教育課、保健体育課、高校教育課を訪問し、要望書を提出いたしました。

令和6年度 第2回滋賀県 高P連評議員会(研修会)開催

令和6年11月8日(金)、第2回評議員会が彦根勤労福祉会館に

おいて開催されました。前川久幸連合会長および滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 課長 濱秀樹様の挨拶等開会行事の後、研修会(教育研修会)では立命館大学名誉教授・近江兄弟社高等学校長の春日井敏之様による「あなたは一人しかいない」―不登校の捉え方と未然防止・初期対応―と題してのご講演をいただきました。

協議事項・報告・連絡等の後、近藤敏夫副会長の閉会の言葉で評議員会(研修会)は終了しました。

第73回 全国高P連 大会茨城大会開催

第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会が令和6年8月22日(木)・23日(金)、茨城県水戸市を中心に「歴史の町で変革を」～新たな時代が目に入らぬか～をテーマに盛大に開催されました。

22日(木)には5つの分科会が開催され、それぞれの会場で熱心な研修会が行われました。第4分科会では滋賀県公立高等学校前会長で第48回近畿地区高等学校PTA連合会大会滋賀大会会長の炭谷将史氏が「みんなで考えようこれからのPTA」と題してご講演をされ、その後グ

ループトークで会場を盛り上げられました。

23日(金)には全体会が開催され開会行事・表彰式が行われ、記念講演では二所ノ関寛氏(第72代横綱 稀勢の里)が「人材育成の不易流行」と題してのご講演をされました。

最後に閉会行事が行われ二日間の茨城大会が終了しました。

編集後記

令和6年度の連合会事業もほぼ終了しました。

近畿大会京都大会、全国大会茨城大会へは県内各学校から多くのPTA関係者が参加され見聞を広められました。また県内5地区で開催されました研修会も今回の広報紙に掲載する事が出来ました。各地区のPTA活動が活発に行われていることに喜びを感じております。幹事校の皆様には大変お世話になりました。

年が明けて令和7年最初の理事会では、令和7年度の行事予定、役員校等が決定いたしました。

会員の皆様には今年もPTA連合会へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

高P連事務局